

# Wish

世界の子どもたちのために

vol. **60**

2020年1月号



兵庫県ふれあいの祭典でお披露目したSDGsの大きなルーレット。(兵庫県立三木総合防災公園)

## CONTENTS

### 特集 EVENT REPORT

- 2 講演会 核兵器をなくすには
- 3 講演会 未来の平和を創るために / つながるいのちプロジェクト / ユニセフ・キャラバン・キャンペーン
- 4-5 ユニセフセミナー / トライやるウィーク

6-7 活動ファイル  
2019年9月～12月

8 お知らせ

# 子どもたちの未来に 私たちができること

未来を担う子どもたち。今を生きる彼らに大人ができることは何でしょうか。  
いのち、平和、教育……の大切さを伝えること。  
兵庫県ユニセフ協会の活動を紹介します。

EVENT  
REPORT

1



## 講演会 核兵器を なくすには

今、私たちにできることは

私たちは今まさに、核兵器のない世界を実現するのか、数を減らしながらも永遠に持ち続けるのか、という岐路に立っています。核をめぐる国際秩序が崩壊する中、保有国は核への依存を強め、新型・小型の新たな兵器開発も進みつつあります。現在、核兵器のない世界へ向けてさまざまな取り組みが行われているなかで、核不拡散条約（NPT）においては、5つの核兵器国（米国・ロシア・フランス・英国・中国）を含む191の締約国が核軍縮交渉を

行う義務を定めています。本来核軍縮とは「核兵器ゼロ」という意味ですが、未だ完全な廃棄には至っていません。

そこで核兵器を持たない国々は、核兵器がいかに非人道的で地球規模の影響があるものか、という客観的な評価に基づいた核廃絶を目指すようになってきました。そしてそれが核兵器禁止条約へとつながりました。

今まで実験以外で核兵器が大規模に使用されなかったのは単に幸運だったのにすぎません。もし

偶発的な事故が起きた時や、合理的な判断をしない相手に対しての抑止に失敗した時、その代償は計り知れないものとなります。使用を前提とした「核の傘」に依存する核抑止では国の安全は守れないのです。日本は被爆国としての体面と、核同盟国という本質の間で揺れています。これまでも、対人地雷や生物兵器などの禁止条約を作ることでも人々の価値観が変わりました。誰もが被爆者になりうる今の世界を核兵器禁止条約によって変えることができるかと伝えていくことが私たちにできることです。

最近では、核兵器製造企業への投融资禁止を求める動きが日本でも高まってきています。私たちは預金先がどういう企業と関わっているかを調べて選び、良い取り組みに対しては褒めて励ますポジティブなメッセージを送ることもできます。

中村さんの講演後、「議員ウォッチ」について安藤真子さんから話

を聞きました。

安藤さんは現在神戸大学大学院在学中。ピースポートのおりづるプロジェクトに参加し、ICAN国際運営委員・ピースポート共同代表の川崎哲さんらと共に、日本の国会議員や地方自治体に核兵器廃絶についての賛否を問うサイト「議員ウォッチ」を立ち上げ、運営に携わっています。このサイトを入り口に、多くの市民がSNSなどを利用して核兵器問題に対する日本の議論の活性化に参加することができるといことを紹介しました。



### Event Data イベントデータ

講師 中村桂子さん（長崎大学核兵器廃絶研究センター（RECNA）准教授）  
日時 2019年8月31日（土）  
会場 神戸栄光教会  
主催 コープこうべ、コープこうべユニオン、兵庫県ユニセフ協会  
協力 神戸栄光教会社会委員会  
参加者 100人



# 講演会 未来の平和を創るために

「知る」ことだけでなく、我がことのように「感じる」こと

5歳の時爆心地から2km離れた長崎市旭町で被爆したという体験をもつ木戸さんは1940年生まれの79歳。アメリカの占領下では、原爆被害の報道の禁止、調査・証言などへの妨害が行われていました。1952年アメリカの占領が終わり、原爆報道が解禁され初めて被爆者と知りましたが、不安や恐怖から被爆者

と言えませんでした。しかし「被爆の記憶がある世代として、いつか何かを」という思いから、1990年被爆者運動に参加しました。1956年日本被団協（日本原水爆被害者団体協議会）が結成され、大会宣言の中で「私たちは自らを救うとともに、私たちの体験を通して人類の危機を救お

う」と誓いました。1984年の原爆被害者の基本要請「ふたたび被爆者をつくるな」は、被爆者の命をかけた訴えでもあり、日本国民と世界の人々の願いなのです。

今、世界は核兵器の禁止から廃絶へと動いています。核兵器禁止条約の発効を目指す「ヒバクシャ国際署名」の波が広がり、2019年9月現在この条約に79か国が署名し32か国が批准しています。被爆者が高齢化し減少して被爆者運動も難しくなっています。被爆者運動は不滅です。継承運動などこれからも前向きに取り組んでいきたいと未来の平和を創るために木戸さんの活動は続きます。



## EVENT REPORT

### Event Data イベントデータ

講師 木戸季市さん(日本被団協事務局長)  
日時 2019年10月13日(日)  
会場 コープこうべ生活文化センター  
(神戸市東灘区)  
主催 兵庫県ユニセフ協会  
共催 コープこうべ、ピースプラットホーム  
参加者 39人

## EVENT REPORT

# ユニセフ・キャラバン・キャンペーン

## 4

4年間で日本全国を一巡するユニセフ・キャラバン・キャンペーンは、(公財)日本ユニセフ協会が、世界の子どもの現状やユニセフの活動の普及・啓発を目的に1979年の国際児童年から行っている活動です。今年11月11・12日に兵庫県で実施され、日本ユニセフ協会の職員が兵庫県庁を表敬訪問し、教育長らに日ごろの感謝を述べるとともにメッセージの交換をしました。また、先生方を対象としたユニセフ研修会と2つの学校で子どもたちを対象としたユニセフ教室を開きました。

## EVENT REPORT

# つながるいのちプロジェクト

## 3

兵庫県ユニセフ協会では、「つながるいのちプロジェクト」と題し教育や命の大切さを伝える講演会を実施しました。ルワンダの内戦を経験された「ルワンダの教育を考える会」理事長の永遠瑠マリールイズさんを講師に迎え、11月19日から29日にかけて兵庫県内の小学校6校、中学校3校、大学1校、大人対象に3か所で話していただきました。この事業は公益信託兵庫県婦人会館ユネスコ基金からの助成を受け実施しました。

EVENT  
REPORT

## 5



2019 ユニセフセミナー

# 子どもの権利とSDGs

子どもの権利条約を  
知る、考える、提案する!



Data イベントデータ

講師 末吉洋文さん(帝塚山大学法学部教授)  
日時 2019年10月19日(土)  
会場 コープこうべ健保会館(神戸市東灘区)  
参加者 25人

2019年は、子どもの権利条約が国連総会で採択されて30年、日本が同条約を批准してから25年の節目の年でした。兵庫県ユニセフ協会では、子どもの権利条約とSDGsの関わりを理解し、課題克服のための意見交換をしながら主体的に学ぶセミナーを開催しました。

## SDGs達成のための考え方

国連では貧困や乳幼児の死亡率などの問題を改善するために、2000年にミレニアム開発目標(MDGs)<sup>\*1</sup>を採択しました。しかし2015年の目標達成期限における達成度は不十分で、取り残されてしまう人々がいました。そこでMDGsを検証して従来の考え方や方法を改め、「誰ひとり取り残さない」を理念とする持続可能な開発目標(SDGs)<sup>\*2</sup>が2015年に採択されました。

SDGsには2030年までに達成すべき17の目標と169のターゲットが決められています。目標達成のために、世の中のできごとは連鎖しているというシステム思考や、望ましい未来の姿から今やるべきことを逆算して考え

る未来創造思考という考え方を用いています。また目標の達成度を数値によって「見える化」して、全体のバランスを見ながら全ての目標の達成度を同時に上げていく必要があります。

## 子どもの権利条約と人間の安全保障、そしてSDGs

子どもの権利条約は、子どもの基本的人権を国際的に保障するために1989年の国連総会において採択された条約です。この条約では、18歳未満のすべての子どもが、健やかに生きること、虐待や搾取などから守られること、教育を受け自分らしく育つこと、自由に意見を表しいろいろな活動に参加すること、などの権利を確保し実現できるように54の条項が決められました。さらに追加・補強する内容の3つの選択議定書が作られています。国連の子どもの権利委員会は条約締結国の政府から出された報告書とNGOなどから出された報告書を審査し勧告を出します。その勧告を受けて各国は国内法などを作り改善に努めなければなりません。

この条約と深く関連するのが「人間の安全保障」という日本発の考



子どもの権利を表す付箋に新聞記事の中で気になった部分に関する自分の意見を書いて貼り、問題点やその解決に向けたアイデアなどを出し合い発表しました。





## トライやる ウィーク

EVENT  
REPORT

6

兵庫県ユニセフ協会は、毎年11月にもトライやるの生徒を受け入れています。今年は5校から9人の中学2年生がやってきました。朝は掃除から始まります。ユニセフの基礎学習の後、SDGs・子どもの権利条約・貧困について、カードやすごろく・ルーレットを使ったワークショップをしました。また、外貨募金の仕分けでは違った角度から世界を見ることができました。

最終日は街頭募金活動です。生徒たちは事前に作成したポスターを持ち、行き交う人に大きな声で呼び掛けました。募金をしていただく中で多くを感じたようで、「支援をする人と支援を受ける人をつなぐ役割をしている



え方です。これは一人ひとりの人間が、戦争などの恐怖や貧困などの欠乏から免れて尊厳を持って生きる自由を保障され、個々の能力を向上させることでより良い社会にしていくというものです。そしてこれはSDGsの考え方やその達成目標とも密接に関連しています。

### 子どもの権利は守られているか

講義の後のグループワークでは、児童労働問題と日本在留資格のない外国人親子の問題を取り上げている2つの新聞記事を読み、子どもの権利と関連する箇所について話し合いました。全体発表では、異なる価値観を持つ人々が子どもの権利について意見交換

をすること、今起きている問題や企業の姿勢などに関心を持ち、フェアトレードの商品を買うなど消費者である私たちの行動が子どもの権利を守ることにつながるなどの意見が出されました。遠い途上国だけでなく、日本においても、いじめ・虐待・子どもの貧困や外国人の子どもの困窮などの形で子どもの権利は侵害されています。問題意識を持ち、どん

な時でも一番大切なのは子どもの最善の利益を考えること。私たちはこれを忘れてはいけな

\*1 Millennium Development Goals  
\*2 Sustainable Development Goals  
\*3 ①子どもの売買、子ども買春及び子どもポルノに関する選択議定書  
②武力紛争への子どもに関する選択議定書  
③通報手続に関する選択議定書

日本は3番目の選択議定書を批准していません。

と思った「大きな声を出すのは難しかった」「募金をしてもらえ嬉しかった」などたくさんの方の感想を聞かせてくれました。



### Data イベントデータ

日時/参加者 2019年11月5-8日

神戸市立上野中学校 福永敦史さん、長坂周一さん、森純哉さん、山下優斗さん

2019年11月11-15日

神戸市立歌敷山中学校 松本南さん、森口くるみさん  
神戸市立西代中学校 大野航さん、材井亮介さん  
神戸市立御影中学校 池田匠吾さん、内藤佑達さん、松川太三郎さん  
神戸市立本山中学校 眞作大地さん、鈴木ハンナさん



## 1 看護学校の文化祭に参加

日 時 10月26日(土)  
場 所 姫路市医師会看護専門学校

今年も文化祭に参加しました。会場は子ども連れでにぎわい、ユニセフコーナーでは、展示した支援物資の説明やユニセフの紙芝居など、学生と一緒にユニセフの活動を紹介しました。



## 2 秋まつり住吉ファミリーに参加



日 時 10月26日(土)  
会 場 コープこうべ生活文化センター

コープこうべの企画した、遊び、学べるイベントのキッズワンダーランドコーナーに「ユニセフってなあに」というブースを出展しました。200人以上の子どもたちがすごろくや魚釣りゲームで遊びながらユニセフのことを知る場になりました。

## 3 2019 ユニセフカップ にしのみや甲子園ハーフマラソン

日 時 11月3日(日)  
場 所 阪神甲子園球場前～武庫川特設コース

令和になって初めてのユニセフカップマラソンが、「アフリカの子どもたちの命と健康を守ろう!」をテーマに西宮で開催されました。今年で32回目を迎えるチャリティーレース。ランナーは甲子園球場からゴールの武庫川河川敷を目ざして西宮の街を駆け抜けました。参加料の一部を寄付していただきました。ありがとうございました。



# Activities File 活動ファイル

兵庫県ユニセフ協会の活動履歴

2019年9月～12月

活 動 一 覧

Activities List

### 学習会訪問一覧

月 日	訪問先	対象	人数
9月 5日	まいたに人権文化センター(宝塚市)	小学2～6年生	28
10月10日	丹波篠山市立古市小学校・幼稚園 PTA	小学生・教師・保護者	160
10月16日	兵庫県立御影高等学校(事務所来訪)	高校1年生	1
12月15日	ボーイスカウト神戸第6団	幼～高校生大人	57
12月20日	福崎町立高岡小学校	小学5年生	6
12月21日	西宮友の会	小学生・大人	26

### 地域活動一覧

\* ブース出展

月 日	イベント名	
9月21日	2019国際理解講座③	
10月 1日	ひょうごまるごと健康チャレンジ2019 第1回(ほがらかウォークin東灘)	*
10月13日	講演会	
10月18日	コープ三木緑が丘組合員まつり	*
10月19日	コープ但馬北組合員まつり	*
10月19日	2019ユニセフセミナー	
10月26日	姫路市医師会看護専門学校文化祭	*
10月26日	秋まつり住吉ファミリー	*
10月26日	コープ姫路田寺組合員まつり	*
10月26-27日	兵庫県ふれあいの祭典(三木市)	*
11月 3日	2019ユニセフカップにしのみや甲子園ハーフマラソン	*
11月8・15日	ユニセフ ハンド・イン・ハンド街頭募金活動(住吉)	
11月 9日	にしのみやふるさとウォーク	*
11月10日	パディウォーク関西in兵庫2019(神戸市北区)	*
11月11-12日	ユニセフ・キャラバン・キャンペーン	
11月19-29日	つながるいのちプロジェクト	
11月20-29日	写真展「ルワンダ ウムチョムウィーザ学園から ～いのち・教育～」	
12月 7日	2019国際理解講座④	
12月22日	ユニセフ ハンド・イン・ハンド街頭募金活動 (姫路、元町、三宮、住吉、西宮北口)	

### ※トライやる受入

11月5-8日 神戸市立上野中学校  
11月11-15日 神戸市立歌敷山中学校、神戸市立西代中学校、  
神戸市立御影中学校、神戸市立本山中学校

### 募金していただいた学校・団体 (2019年7月～10月)

宝塚市立逆瀬台小学校、コープこうべ第1地区代表一同、(私)育英高等学校、西神戸教会女性会、あいっこの会(敬称略、順不同)  
ご協力ありがとうございました。



## 4 2019 国際理解講座③④

### 3

### 生きるって、なに？

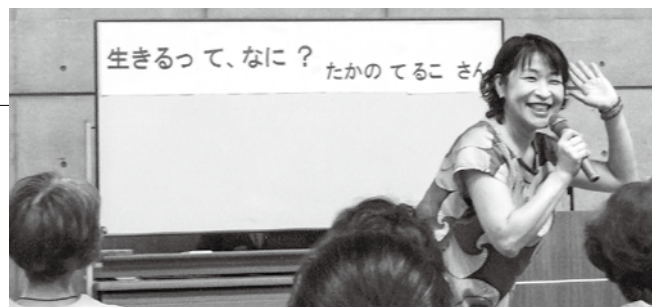
自分らしく生きて、自分を好きになろう！

「地球人」として生きる秘訣♪

講師 たかのてるこさん（地球の広報・旅人・エッセイスト）  
日時 9月21日（土）  
会場 あかし保健所  
共催 コープこうべ第6地区活動本部  
参加者 130人

ダライ・ラマやジブシーなど世界中の魅力的な人々に会いに行く旅をするてるこさん。目の前のことを「虫の目」で見つめる日常から離れて、視野が広がる「鳥の目」で世界を知ることができる旅は、世界最大の学校とのこと。これまでの旅の映像や『生きるって、なに？』『逃げろ 生きろ 生きのびろ！』などの著書の写真を見ながらてるこさんパワー満載の話を聞きました。

人と比較することなく自分を大事にして、生きたい場所で自分らし



く生きること。自然の一部であってすべての命とつながっている人間は、人の力を借りずには生きていけないのだから、迷惑をかけたりかけられたりすることを恐れず、困った時には助けを求め、辛い時には逃げてもいい。怒りを手放し苦手な相手にもエールを送ろう。過去の失敗を責め未来を心配するのではなく、今に全力投球して生き切ろう。これらのてるこさんからのメッセージは、「心配しない。心配するなら行動する」という

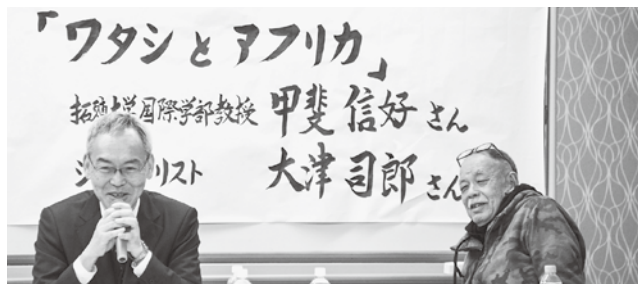


大きな声での最後の唱和によって参加者それぞれの心に刻まれました。

◀ 講演後のサインハグ会

### 4

### ワタシとアフリカ



講師 甲斐信好さん（拓殖大学国際学部教授）写真 左  
大津司郎さん（ジャーナリスト）写真 右  
日時 12月7日（土）  
会場 コープこうべ健保会館  
参加者 59人

甲斐さんは、大津さんのコーディネートで、15年にわたりゼミの学生たちとアフリカスタディツアーを行っています。アフリカの多く

の国は、社会インフラの欠如、教育、医療、紛争など多くの問題を抱えています。

学生たちは、子ども兵士復帰施設や難民キャンプへの訪問、学校へ通えない子どもたちとの触れ合いから、生きることの大変さや日本の常識は通用しないことを知ります。また、欧米・中国などの怒涛のアフリカ進出を目の当たりにします。アフリカは日本においては知りえない世界のリアルや厳しさがわかる偉大な教科書なのです。大津さんからは、サハラ砂漠の南縁部に広がる約300万km<sup>2</sup>に及ぶサヘル地域での大干ばつの話がありました。日本では報道されていませんが、牧畜民と農耕民の衝突が多発し、多くの死者が出て国々の存続が危うくなる状況さえ見られます。

また、アフリカではジェンダー格差が非常に大きく、女性は社会規範の面で大きな制約を受けており、社会発展を阻害する要因になっています。

終わりに、甲斐さんは、「愛情の反対は憎しみではない、無関心だ」とマザーテレサの言葉を例に挙げ、関心を持ち、いろんな人がいて、違う考えを自由に示すことが国際理解ですと話しました。

## 5

### 第41回ユニセフ

### ハンド・イン・ハンド街頭募金活動

日時 / 場所 11月8日（金）・15日（金） / 住吉  
12月22日（日） / 姫路、元町、三宮、住吉、西宮北口

11～12月はユニセフハンド・イン・ハンド募金キャンペーン期間です。今年のテーマは「すべての子どもに生きるチャンス」。トライやるの中学生やボーイスカウトも参加し、街頭で幼い子どもたちの命を守るための支援を呼びかけました。ご協力ありがとうございました。



## ユニセフ募金 Donations For Unicef

### ■ 通常募金

通信欄記載事項	振替口座	手数料
K1-280 兵庫	00190-5-31000	免除

### ■ 緊急・復興募金

	通信欄記載事項	振替口座
ロヒンギャ難民	ロヒンギャ K1-280 兵庫	00190-5-31000
シリア	シリア K1-280 兵庫	00190-5-31000
アフリカ栄養危機	アフリカ K1-280 兵庫	00190-5-31000
自然災害	自然災害 K1-280 兵庫	00190-5-31000
人道危機	人道危機 K1-280 兵庫	00190-5-31000

\*共通口座名義：公益財団法人 日本ユニセフ協会

\*手数料免除

## 募集中!

ユニセフ  
ひょうご  
サポーター

賛助会員として活動  
を支えて下さる方を  
募集しています。

ユニセフ  
ボランティア

「できる人が できる  
時に できることを」  
一緒にしませんか。

# Wish<sup>vol.60</sup>

ユニセフ兵庫ニュース Wish

2020 年 1 月発行

発行：兵庫県ユニセフ協会

住所：〒658-0081

神戸市東灘区田中町 5-3-18

コープこうべ生活文化センター 4F

電話：078-435-1605 (平日 10:00 ~ 16:00)

FAX：078-451-9830

### ●最新の情報はホームページで

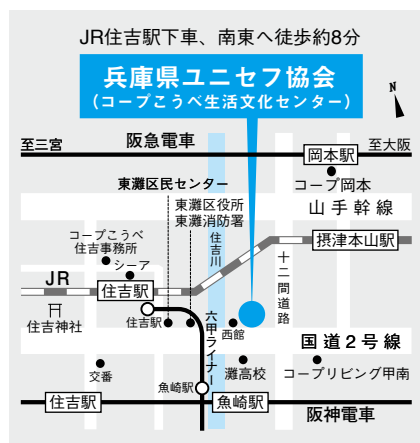
<http://www.office-bit.com/unicef-hyogo/>

兵庫 ユニセフ

検索



### ●兵庫県ユニセフ協会への案内図



## Join Us 主催イベント

どなたでもご参加いただけます。  
詳細は HP をご覧ください。

参加費  
無料



### ユニセフ写真展

長谷部誠大使 ギリシャ難民キャンプ訪問  
「すべての子どもに、夢を」

期間 1月10日(金) ~ 24日(金)

会場 ひょうご国際プラザ 交流ギャラリー  
(神戸市中央区)



© 日本ユニセフ協会  
/2018/satomi.matsui

### 2020 国際理解講座①

講師 永井陽右さん (NPO アクセプト・  
インターナショナル代表理事)

日時 4月25日(土) 10:00 ~

会場 コープこうべ生活文化センター

## News お知らせ

今年もカレンダー募金を行います。2月中旬を  
予定しています。

## Booth 出展参加

2月9日(日)	2020 ユニセフカップ 神戸ボランティア・ラブラン
3月1日(日)	コープファミリーフェスタ(西宮)
3月15日(日)	神戸国際交流フェア
4月	2020 ユニセフカップ 芦屋さくらファンラン

### ユニセフ 子どもスマホサミット in 神戸

日時 1月25日(土) 13:00 ~ 16:00

会場 コープこうべ生活文化センター

定員 100 人

後援 兵庫県、兵庫県教育委員会、  
神戸市、神戸市教育委員会

ネット世代の子どもたちの自由な討論や発表を  
もとに、インターネット上の安心・安全やより良  
いネットとの付き合い方を大人も一緒に考えて  
みませんか。

お申込み、お問い合わせ先  
事務局 078-435-1605

### 事務局からのお知らせ

兵庫県ユニセフ協会「第19回理事会」  
「第10回評議員会」を開催しました。

日時 2019 年 12 月 19 日(木)

会場 コープこうべ住吉事務所

役員等の変更についてご承認いただいた  
後、2019 年度事業報告、決算見込み、  
また 2020 年度事業計画(案)、予算(案)  
について報告しました。皆様からの貴重  
なご意見を 2020 年度の活動にいかし、  
更なるネットワーク強化等、広報・啓発  
活動の拡充に努めます。